

学校だより 令和5年度 第1号



小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

令和5年4月15日

〒958-0268

村上市小川14

TEL:0254-52-2723

FAX:0254-52-4327

「直接体験による熱量を伝えたい」

校長 佐久間 義久

1年生12人を迎え、給食も始まり、小川小学校に楽しい日常が戻ってきました。そんな折、子供たちの心の様子が分かる素敵な景色を見付けました。それはきれいに



通学靴が並んだ靴箱の様子です。少しずれた靴も見えますが、それはご愛敬。他の学年の靴箱もきれいにそろい、児童一人一人の「やる気に胸を膨らませる様子」が見えるかのようです。

さて、現在も感染が収まらない中ではありますが、5月には新型感染

症が第5類へ移行ということもあり、様々な変化が期待されています。約3年に及ぶ感染禍の間、子どもたちの直接体験が大きく制限されてきたことから、文部科学省は「子供の体験活動推進宣言」を発表し、改めて直接体験による学びの重要性についても言及しています。必要に迫られデジタル化がどんどん進む中ですが、直接体験から得られる知見は何より確かな「生きる力」となることは誰もが感じているところです。オンライン会議はもはや一般的となりましたが、最近増えてきた対面式による会議や講演、コンサート等で感じる“熱量”を快く感じるとともに、「こうでなくっちゃ」と感じるのは私だけではないと思います。前任地の新潟県少年自然の家でも、令和3年度に約一万六千人だった利用者数も昨年度は役一万人増加し、今年度は三万人超を予想するなど、誰もが直接体験を求めている風向きは間違いのないようです。

新しい生活様式が浸透してきた中で、様々なリアル体験を制限されてきた子供たちに、今こそ「リアル」×「デジタル」の最適な組合せによる学びを実現するように検討を重ねてまいります。今年度も保護者様方の様々なお力添えをお願いいたします。

長らく工事でお待たせしました

小川小日記を再開します！

素敵な子供たちの休み時間や教室での様子、時には学習での成果物や作品、行事等の様子を随時発信してまいります。





お世話になりました ～令和4年度転出職員～



校長	佐藤 進	子どもたちの「挨拶」「笑顔」「思いやり」「頑張り」に元気をもらい充実した毎日でした。保護者、地域の皆様から温かいご支援とご協力いただいたことに深く感謝いたします。3年間ありがとうございました。
教諭	網代 恵子	明るく人なつっこい子どもたちと一緒に充実した活動ができ、楽しい思い出がたくさんできた5年間でした。保護者、地域の皆様からご支援、ご協力をいただき、大変感謝しております。ありがとうございました。
教諭	五十嵐 静子	4年間、大変お世話になりました。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援とご協力に支えられ、元気で明るい子どもたちと充実した毎日を過ごすことができました。ありがとうございました。
教諭	神田 亜希子	明るく元気な子どもたちと過ごしてきた時間は私にとって大切な宝物となりました。保護者の皆様、地域のご支援やご協力をいただき、心より感謝いたしてしております。3年間ありがとうございました。
主事	佐藤 浩司	約10年ぶりとなる朝日三面川太鼓の演奏、とても感動しました。また、保護者の皆様、地域のご支援ご協力により、私自身大変助けていただきました。1年間、ありがとうございました。
介助員	板垣 美耶	小川小学校で3年間お世話になりました。明るく元気なみなさんと学べて、とても幸せでした。 今まで、本当にありがとうございました。
介助員	本間 美幸	みなさんと一緒に、勉強したり、遊んだり、とても楽しい時間を過ごすことができました。 1年間ありがとうございました。

よろしくお願ひします ～令和5年度職員～



5名の新しい教職員を迎え、19名の教職員で令和5年度をスタートしました。子どもたちの健やかな成長を願ひ、精一杯努めて参ります。保護者や地域の皆様方からは、これまで同様温かいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

校長	佐久間 義久 (県少年自然の家より)
教頭	大滝 英俊
教務主任	山田 裕之
特別支援担任	菅原 美智子
特別支援担任	安部 修平 (新発田市立住吉小より)
1年担任	加藤 真由美
2年担任	大滝 紀子
3年担任	平岡 奈緒 (村上市立平林小より)
4年担任	柳谷 太一
5年担任	遠山 実代子

6年担任	松川原 梨加
養護教諭	井上 愛美
主事	八百板寛太郎 (柏崎市立高柳小より)
技能員	相馬 玲子
介助員	高野 みちえ
介助員	山田 麻子
介助員	菅原 奈津 (村上市立朝日中より)
図書館司書	星野 靖子
教諭	青木 香菜子

お願い

入学、進級の喜びを感じながら、毎日気持ちのよい挨拶を交わしてくれる子どもたち。これからもさわやかな挨拶の声が地域や学校で響き合うよう、ぜひ、ご家庭でも引き続き聞こえる声で、自分から、相手の目を見てあいさつができるように声をかけてくださるよう、ご協力をお願いいたします。